

# 「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブラブ夫婦生活」

紫

紫

紫

紫

紫

紫

// 「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブ夫婦生活」台本  
// ※ダマリーヘッジ位置指定は直前のものに準じます  
//  
//

//00. タイムホール

//※ダマリーヘッジ位置指定は直前のものに準じます  
// 「幼な妻紫ちゃんと」までは可愛らしく普通に読んで  
// 「甘々ラブ夫婦生活」は囁くような感じでお願いします。

Yu10001  
「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブ夫婦生活」

//01. 玄関先で出迎え

//SE:廊下を小走り（トトト……）  
//ダマリーヘッジ位置・9 離れた位置から近付く

Yu10002  
「おかえりなさい、パパ」

//ダマリーヘッジ位置・1

Yu10003  
「今日も一日、お仕事お疲れ様。」

Yu10004  
「パパお疲れみたい……お仕事が大変だった？ お仕事の疲れ  
を、私が癒してあげたいよ……」

Yu10005  
「へへ、ママをぎゅーっとしたら、それで疲れが取れちゃう  
の~。」

Yu10006  
「ふふふ、じゃあ、パパの疲れが早く取れちゃうよ~」、ママの  
「」と笑ってして欲しいな……」

//SE:紫に抱きついた音

//ダリ一ヘシテ位置・1 頬の近くで囁く

Yu10007  
「あふ……つふふ、パパのお顔が胸に近づいて、ちょっとくすぐったいかも……」

//ダリ一ヘシテ位置・1 少し感じるので

Yu10008  
「ママの胸ひく柔らかい。ああん、そんなに押しがけたら、変な声が出ちゃうよ。」

紫  
Yu10009  
「あふ、くすぐったい。あふ……私の匂いで幸せな気持ちになつわやつの。つふふ、ママと一緒にだね。」

//ダリ一ヘシテ位置・1 頬の近くで囁く

紫  
Yu10010  
「なんだかドキドキしてきちゃつた。私の胸の音、聞いてる。もひと聞いて欲しいな。」

//ダリ一ヘシテ位置・1 心配やつこ

紫  
Yu10011  
「ふふ……今日はじめてよつ、おもへつててくれるんだね。ママは嬉しいけど、パパは会社で何か嫌な」とでもあったの?」

紫  
Yu10012  
「パパの」とだつたら、なんども分かつたやつよ。だつて大好きなんだもん」

紫  
Yu10013  
「パパだつてママのパパ、何だつて分かつたやつだよ。」

//ダリ一ヘシテ位置・7

紫  
Yu10014  
「やうとやうと、私をやうといて、いはまつ元気になつてね。」

紫  
Yu10015  
「他にや、じつしたらパパを元気にしてあげられるかな。」

//話題・3

紫  
Yu10016 「ね、心配だ……近く、パパをよしょー、してあげたいなあ…  
…パパのいる、このまご抱き締められたいね……（優しく抱き締  
め）」

//話題・1

紫  
Yu10017 「ユーナー、ユーナー……嫌な人間がいた、町へは帰らなか  
れやねー。ママがお願いだもん……」

//話題・7 聞き

紫  
Yu10018 「パパは母曰、一生懸命に仕事頑張つてねもんね。私はちゃんと  
お知りしている。」

//話題・7 聞き

紫  
Yu10019 「ハスフロ、やうなんだ……パパのせじじやなこのこ、せいか  
れやつたんだね……」

//話題・7

紫  
Yu10020 「やうなの感じしなくてやうじよ。やうな」と叫ぶ人は、ママ  
がメモーのトントあざむかねえ。」

紫  
Yu10021 「本調だよー、だつて私、パパの為だつたら何でも出来ちゃつて  
だかー」

紫  
Yu10022 「だから、パパは安心して暮らしちゃうだよー。」

//話題・3

紫  
Yu10023 「ハスフロ、やうじよ。やうじよやつたの。」

//話題・3 聞き

紫

Yu10024 「ん~、私はJのまめめいJ、パパのJのJのJを一いつじてこだん  
だいたいなあ……」

//※〃ーくゞゞ位置・3

紫  
紫  
Yu10025 「ん~く~……♪♪♪歌を一いつわれるのも好きだもい。 いふらら…  
…だひ~、ペペのJのJのJのJせこ感じられるか~」

紫  
紫  
Yu10026 「ふふ~……むつなんだ、むつに足氣になれたんだね。 もかつた……  
いふふふ」

//SE: 衣擦れの音

//※〃ーくゞゞ位置・7 頬を離して

紫  
紫  
Yu10027 「ん~く~、本物のJ田中 J田、J田 様。 それじやあ、一緒にJ  
飯食くよ~ね~」

//終

//鎌木紫 ボイベーツヒマ 和本

//※〃ーくゞゞ位置指定は直前のJのJに準じます

//02. 部屋で膝枕

//

//※紫は床座り中

//※〃ーくゞゞ位置・9 離れた位置でややトカ

紫  
紫  
Yu10028 「あ、おかえりなさい、パパ。今ね、テレビを見てたといひのな  
の」

//SE: 両主人公が紫の隣に座る音

//※〃ーくゞゞ位置・1

紫  
紫  
Yu10029 「あぐ~JのJのJがある~。 それともお風呂~。」

紫  
Yu10030 「やの前にひよっと休憩するの？ ジやあ、ママの横に座つて、一緒にトランポ覗よつね」

紫  
Yu10031 「えへ。膝枕して欲しけの～。うそ、ここよ。じやあ……（SE：膝を置く音）…………はこ、エハハヤ」

//主人公が寝転がりて膝に頭を置く //SE:衣擦れの音  
//ダリ一ヶシナ位置・7 口元で囁く

紫  
Yu10032 「つぶら……ママの太股の感触はどうかな？ 気持ち良じい？」

//ダリ一ヶシナ位置・7

紫  
Yu10033 「私の足も触つてると気持ちいいの？ ジやあ、いっぽい撫で撫でっこし、気持ちよくなつて」

//ダリ一ヶシナ位置・7 口元で囁く

紫  
Yu10034 「私も一緒にペペの！」と、こうす、こうすしかやつね。」

紫  
Yu10035 「ねこねこ、ねこねこ……今日もお仕事お疲れやね……」

紫  
Yu10036 「つぶら、パパの髪つて柔らかくて、触つてると気持ちいいね」

//ダリ一ヶシナ位置・7 べすぐつた七十感じいる

紫  
Yu10037 「あん、太股の上でもぞもぞしちゃダメだよ。べすぐつたくなつむやつんだから」

//ダリ一ヶシナ位置・7

紫  
Yu10038 「やー、悪戯ばつかつてー……ペペいたる、子供みたいだよい。」

//ダリ一ヶシナ位置・7

紫

Yu10039

「へへくく……私もペペに悪戯したやねうかなあ……せいくを……  
つるつる、(SE:主人公がくすぐつたがる衣擦れの音) 「ふふ、  
くすぐったいドンちゃん。」

//主人公が頭の位置を変える SE:衣擦れの音  
//ゞゞーくゞー位置・1

紫

Yu10040  
「あ、逃げちゃダメだもー……あー……♪♪したの、急に頭の向  
きを変えた?」

紫

Yu10041  
「今度はママのお顔が見たくなっちゃった? わたしもペペのお  
顔が見れて嬉しいな、うふふ」

//ゞゞーくゞー位置・1 後半、顔を近付けて囁く

紫  
紫  
紫

Yu10042  
「なんだかパパの顔、ちょっと赤くなっちゃった。ママに見つめら  
れて照れちゃった?」

//ゞゞーくゞー位置・3

Yu10043  
「あ……今度はもつね回こねやつの、パパのお顔が見られなく  
て、ママ寂しけなあ……」

//ぬちーと注意する感じ

Yu10044  
「え……ペペ……なんだといひに顔を押しさせ、ヒツチなー」と  
柳川してなこ~」

//ゞゞーくゞー位置・3 叩打で囁く

紫

Yu10045  
「ふふ、そんなにママに抜えたかった? うん、ママにこ  
へいせこねばでね?」

//ゞゞーくゞー位置・3 優しく語りかける

「……………」

紫  
「アヘ……パパったら本当に大きな子供みたい、パパ。今日マ  
ム10047

「えへへ……パパつたら本当に大きな子供みたい、パパ。今日ママにじつぱい甘えるなんて、そんなに寂しかったんだ……」

位置・3 ハンドヘッドミーダン

「よしよし……ん? もう元気でたの、ママのお膝で満足し

「ね」ヌレ……ん? もハ兄氣だの? ママのお膝で満足しあやつた?」

//S.E.主人公が体を起こす

紫  
yu10050  
「じやあ、『飯の支度するから、パパはお着替えってきてね?』

//ダミーへツド位置・6 少し離れかけて立ち止まり

卷之三

「あ、そうた……」

紫  
YU10052  
「キス音」 .....「アキラ」の歌詞で使われる言葉だぜしなー。」

//SE:衣擦れの音

渝10053  
5·2

「あん……ダメ、続きた後でね♪」

「あん……ダメ、  
続<sup>シ</sup>きはまた後<sup>アフタ</sup>でね♪」

//※タマノヘシナ位置指定は直前のものに準じます  
//-----

Xu10054 「（鼻歌交じり） じづしたのパパ、 今日も膝枕して欲しい？

「へへ、 ママにせんたくなつちやつたんだ、 うふふ」「

//タマノヘシナ位置・1

YU10055 「うーん、 こつしょにおお耳を綺麗にしちやおつか？ ママが耳か  
きこりあざるね」

//紫が座りつとする音

YU10056 「せーこ、 うわわ……（SE：ひざをポンポン）。 最初は左のお耳か  
いさる？」

//タマノヘシナ位置・1

//SE：主人公が「うわわ」としながら頭を乗せる

//ナギに聞かせると云う

YU10057 「ねーこ、 ママがキレイ、 キレイしてあげますからね~」

//タマノヘシナ位置・1 耳元で囁く

YU10058 「めずらしさ。 パパのお耳を、 両手で優しく……」「うして、 マッサージ  
してあげるね……ふふ……」

//タマノヘシナ位置・1

YU10059 「つぶしよ……つぶしよ……んへへ、 お耳をマッサージすると  
ね、 自律神経の乱れを整えられるんだって……あと、 肩こりに  
も効くらしいよ~」

//タマノヘシナ位置・1 じうかな? から耳元で囁く

YU10060 「……うーん、 テレビでやつてたの。だから、 パパにしてあげたい  
なーつー……どうかな? 気持ちいい?」

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

//タリーヘシテ位置・7

紫  
Yui0061  
「へへく、もひとしてあげちゃうね♪……もみもみ、もみもみ…  
…もひとママの声が良く聞こえるよ!!……つぶさ」

紫  
Yui0062  
「呼吸音（1分）」

紫  
Yui0063  
「ふう、じやあ、そろそろお耳の中を掃除するね~」

//タリーヘシテ位置・7 耳元で囁く

紫  
Yui0064  
「最初はね……お耳の中をふーって吹いたらやつよお……」

紫  
Yui0065  
「ふー、ふー、と吐息を吹きかける（5秒）」

//タリーヘシテ位置・7

紫  
Yui0066  
「へへ、へすぐったかった？ 最初にリハしておへと、お耳を  
綺麗にしやすいんだって」

//タリーヘシテ位置・7 後半、囁きながら少しエッチな感じに

紫  
Yui0067  
「えへへ、大丈夫だよ、優しくしするから。うふふ……いつもバ  
バが、ママにしてくれてるみたいにね……ふふ」

//タリーヘシテ位置・7

紫  
Yui0068  
「ふふやあ、するね……動いちやダメだよ、じつとしててね……  
…」

//最初は入り口の方をの後から耳かき効果音

//後半部分は意味深な感じで

紫  
Yui0069  
「最初は入り口の方を……ふふ、ちょっとずつ奥に入れしていく  
からね……」

//せ耳かき効果音

//細かい作業をしている感じ

Yu10070

「アーリーが、あらかじめしておいた用事だ」

ちやダメだよ?」

//せ耳かき効果音

Yu10072

卷之三

//細かい作業をしている感じ

Yu10073

二〇一九年五月一日

//せ耳かき効果音

Y110074

「ふふふ、耳かき気持ちいいの？」えへへ、力が抜けてちやつて

「やる力」

YU10076

「はーい、仕上げは梵天で綺麗にしてあげるね……耳かきの後に

位置・7 耳元で囁く——>シテ位置・7 //ダリマ////

Yui0078  
リカレントアーティスト  
パババキビトたそ

う、えへへ……かわいい」

Y410079

「うじておくと サッパリして気持ちいいんだよ？」  
くすぐつたくても我慢、我慢……」「しょこしょ……」  
「だから

「位置・」くすぐったそうに

「あん、わざとくすぐつてないよー。だからパパも、ママの」と  
くすぐつちゃダメえー」

Yui0082  
「じゃあ、最後もまたふーひしてあげるね……」「

紫  
Yui10083  
「ふー、ふー、心拍を吹きかける（5秒」

「ふふ……ふーっとすると、ペペのお耳がピクピクってして、  
とっても可愛い……」

「はい、左のお耳は綺麗になつたよ。今度は反対を向いてね、  
ババ」

//SE：主人公が「ノン」ノンと体の向きを変えている

／＼ダミーへ ッド位置・3

紫  
Yui10086  
「じいちのお耳はどうかなー?」

YH109887

//ヌリ一ヶド位置・3 “うかな、かの瞳くみつ」

Yu10088  
「やみやみ……わみわみ……じつかな。 気持ちごこち……。」

Yu10089  
「……べべのね耳ついで、 小せめて可憐じよね……。」

Yu10090  
「唇吸音（1分）」

Yu10091  
「あ、 お耳が温かくなつてしまた!……へへへへへへへへへへへへ」  
な?.. ジヤあ、 中を綺麗にすんな……。」

Yu10092  
「大丈夫だよ、 くすぐりたくしないから……ふふ、 おた悪戯しな  
こゆー」

//ヌリ一ヶド位置・3 だから、 かの瞳くみつ

Yu10093  
「耳かきしての唇吸音マメのね唇を撫で撫でしだら、 危ないで  
しょ?.. だから、 ジリヒヒしてね……。」

Yu10094  
「ハハハハ、 ここの子だね、 パペハ、 じれじれ……。」

//se咲かき効果音

Yu10095  
「唇吸音（2分）」

Yu10096  
「ヌー……あひた、 あひた……わいつかみいじだから……じつめ  
して……うそ、 取れだよー」

//se咲かき効果音

//繩かご作業をしている感じ

Yu10097  
「（唇吸音） × 4」

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫  
YU10098 「他にせ無いかな? 奥の方もどうやーと、見ておせのからね  
.....」

//se咲るも初黙

紫  
YU10099 「紫の呼吸音 (3分)」

紫  
YU10100 「.....わ~、もう大丈夫みたい。綺麗になつたよ、パパ」

紫  
YU10101 「うやあ、いのちも梵天で綺麗にしてあげるねー.....」  
「よ、じこじこも.....つぶふ、くすぐったくて我慢して  
ね~」

紫  
YU10102 「慣れるといきなりしゃべり.... くわくす....くすぐりたいのを  
我慢しちゃう? パパって可愛い.....」

紫  
YU10103 「やっぱ少しで終わるか? おひなよ! と我慢してね.....」  
「よ.....じこじこも.....」

紫  
YU10104 「せこ、綺麗になつたよ! じゃあ、いわのお母も最後は  
ふーひトントおせわね.....」

紫  
YU10105 「ふー、ふー、ヒ古巣を吹きかさる (5秒)

//「ふーくしゃく位置・3 なら、から悪戯いせへ疊へもひこ

紫  
YU10106 「ふふふ、わくないくあぐひだらの~ なら、わくふしおやねい  
かなあ.....ふー.....ふー.....」

//「ふーくしゃく位置・3 最初は少し感じた様子で

紫  
YU10107 「あんつ……ダメだよ、パパ……エツチないだずらしちや、うふ

「...」

Yu10108

「ううん、おまえのことは、もういいやつだ。」

תְּמִימָנָה וְעַמְּדָה בְּבֵית יְהוָה כְּלֹמְדָה וְלִשְׁמָרָה  
יְהוָה כְּלֹמְדָה וְלִשְׁמָרָה תְּמִימָנָה וְעַמְּדָה בְּבֵית יְהוָה

「ふふ、よかつた……そんなに気持ちよかつたの？　じゃあ、またしてあげるね、うふふ……」

紫  
「え？ もう耳かきは終わつたけど、このまま膝枕を続けて欲しいの？ もー……パパつたら、甘えん坊さんなんだから……」

γu10111

ママもパパのこと、もうちょっと膝枕してみたいかな……うふ

Yui|0112

紫  
えへへ……なんだか幸せだね。」ういうのいつ……ん?  
もそう感じてたの? うふふ、一緒にね……(キス音) 一  
ババ

卷之三

終了

2

11

//※タグへの位置指定は直前のものに準じます

11 - 位置づけ - ハードウェア

Yu10114

6. 置付元シヤー

紫 Yu1015 「へへへ……眠持ち舐めかいつた寝顔……くく、なにか夢を見て  
るのかな……~」

紫 Yu1016 「(唇吸音) × 4」  
//SE衣擦れの音  
//ヌリークシズ位置・1

紫 Yu1017 「あ、おせみー、パパ……田が覚めちゃった……~。へへへ、パ  
ペの寝顔を見てたの」

紫 Yu1018 「え。 わい型わいやひ。 まだゆづくしても大丈夫だよ」

紫 Yu1019 「うやあ、おせみーのチューね……ん…… (キス音) ……へへ  
~」

紫 Yu1020 「アハーッたの、ペペ~。 ママの手を取って……あ……この隣に  
いへんな!……」

紫 Yu1021 「ペペのおちんちん、朝からアヒル氣だね……ペジヤマの上か  
いども分かぬよ……」

紫 //SE衣擦れの音  
//ヌリークシズ位置・1 吐息隕じり

紫 Yu1022 「え……ダメだよ、ペペ……朝からHツチしてたら……ん……  
お仕事、遅れややう……かの……あん……」

紫 Yu1023 「あ、ダメ……!! う、の……そ、ルルー娘ひぐる  
の、ペペあ……」

紫

//“”ーくシテ位置・1 ハリリ位置かセキモノハリ

紫  
Yu10124  
「モー……だーぬ。だいじペペとHシキした!」……アマだつて、  
離し」飯の支度とか出来なくなつたやうか?」  
//“”ーくシテ位置・1 少し悲しやハリ

紫  
Yu10125  
「ハハ……心地に寂しそうな顔しなじで……わたしへも悲しく  
なつてしまわやつめ……」

紫  
Yu10126  
「モハ、仕方ないなあ……シやあ、ペペのJR駅になつたやつだね  
ちくわん……駅持ち駅へつりあがねね……?」  
//“”ーくシテ位置・1 カルミド壁  
紫  
Yu10127  
「ママのお手々がいい。それともお口……?。ハハハ、お口で  
して慈しむの……?」  
//“”ーくシテ位置・3 口Rド壁

紫  
Yu10128  
「ハハ、ここの……シやあ、ママのお口ドペペのおかんちん駅持  
ち駅へしておはるね……」  
//“”Rの方に動きついで、ペジヤマヒベンシを脱がす衣擦れ  
//※以降、Hリウヰズはややド側、少し離れた位置になつます  
//“”ーくシテ位置・1 ハリウヰズ

紫  
Yu10129  
「あそ……モ」こ、飛び出したりやつた……ペペの朝からJR気  
なおゆでね……」  
//“”ーくシテ位置・1

紫  
Yu10130  
「ふふ、れいれい、ミング、ミング、ミング……期待してゐる…  
…?。シヤお……」  
//“”ーくシテ位置・1 ハリウヰズ、吐息吹きかけ

紫

「ふー……ふー……だつて、パパのおちんちん、熱々なんだもん  
……」ひやって冷ましてあげないと……お口が火傷しちやう

紫

「ふふ……最初は、先い世のヒーローキス…………してあげるわ……」  
(キス音5秒)」

紫

「ん……わいと固くなつてしまつたね……（キス音5秒）  
ハツチなお火も出できたよ、パパ……」

三

「（和で舐め回す音）…………ふふ、ちよいとしゃいばらかな…………」  
（キス音5秒）…………あふ…………」

紫

「おやつで顔を近付けて見ると、やつぱりパパのおちんちんって……おつきにな……」「…

紫

「Jんなにおつきなので、いつもママのJと……（キス音）……  
気持ち良くなれてるんだね、パパ……」「

紫

紫

「優しく、優しく……手で揉み揉みしてあげてから……（軽く吸い付く音）……お口でも気持ち良くなしてあげる……（舐め音10秒）」

紫

ダニーへツド位置・一 フェラ中、金玉責め

10139  
ちゅ～……（舐ぬ音10秒）……………」の母さん……パパの精子  
が、いっぱいなんだね……」

紫 YU10140 「ホイ」「う、もアペハパン……（舐め音5秒）……卑へ舌をかいてあ  
せぬか、りね……ちゅ……」

//マミーへシド位置・1 フルラ中、裏筋舐め

紫 YU10141 「次はね、根元の方から……といつして、舌の先で舐めるよ  
……（舐め上げ音）」

紫 YU10142 「へ……舐めている間も、先っぽを指で優しく揉むと、気持ちい  
いドショ……ふふ……（舐め上げ音）」

//マミーへシド位置・1 フルラ中

紫 YU10143 「やれか、ひ……先っぽの、お汁を舌で舐めて……（れろれろ舐め  
る）……舌でくすぐるよハリ……（れろれろ舐める）」

紫 YU10144 「凶がつた笠みたいなヒ」や……ん……（舐め音5秒）……舐めり  
れてピクンピクンと動いてる……「ふふふ……気持ちいいんだね  
……」

//マミーへシド位置・1 フルラ中 おじやぶつ、からく 舌元で囁く

紫 YU10145 「ホイ」「う、パパのおちんちん……まだまだ硬くなるよ……」や  
あ、そろそろ……お口の中にしてあげるのね……」「  
//マミーへシド位置・1 フルラ中、ペニスを咥えてこくへ

紫 YU10146 「ちゅ……ん、むぐ……（ちくらぬのフルラ音10秒）」

紫 YU10147 「ぢゅぢゅあ……おわじか、お口からせみ出すやうにひ……ふ  
ふ、あむ……ごぐ……」

紫 YU10148 「（エヘヘヘヘヤダフルラ音10秒）……んふ……」

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

//ダリ一ヘシド位置・1 フヨリカ申

Yu10149 「（少し勢いを増したフヨラ音10秒）…………ぢゅぱあ…………エッヂな  
お汁がいっぱい…………ん…………せむ…………（咥え直す）」

//ダリ一ヘシド位置・1 フヨリカ申、咥えながら

Yu10150 「かきめり…………お口の中で、舌でねぶねぶすると…………パパ  
のおかえりだが、嬉しそうに動いてる…………」

Yu10151 「もいと気持ち良くなつて、パパ…………（少し勢いを増したフヨラ  
音10秒）…………浮き上がつた血管も、舌で擦つてあげる…………」

//ダリ一ヘシド位置・1 フヨリカ申、フヨラ音混じりに

Yu10152 「お口の中で、おちんちんが、どんどん硬くなつてしまふよ、パパ…  
…少し勢いを増したフヨラ音10秒）」

//ダリ一ヘシド位置・1 一度、口から離す

Yu10153 「ふざあ…………やわやわ丑かやつ…………いいよ、パパの好きなと  
きに、こひども丑つていいからね…………（キス音）」

//ダリ一ヘシド位置・1 フヨリカ申、咥え直す

Yu10154 「せぬ……（激しゆのフヨラ音10秒）」

//ダリ一ヘシド位置・1 跪えたまましゃべる

Yu10155 「ふふふ、ふふふ…………パペのおちんちん、もう弾けちゃうんだ  
よ…………（激しゆのフヨラ音10秒）」

//SE 射精音

//ダリ一ヘシド位置・1 射精を口で受け止める

Yu10156 「ふふ、ふふ…………んふう…………」

//ダリ一ヘシド位置・1 精液を飲む

Yui0157  
「ええ……」  
「ええ……」  
「ええ……」  
「ええ……」

1

二〇〇九年九月二十一日于北京

ふはあ……はー……はー……いへし出だね……ひて、すごく濃いから……飲むの大変……ふふ……」

紫  
「えへへ……まだ終わっていないよ……ちゃんと、綺麗にするから  
ね……（キス音）……（舐めフニラ音5秒）」

紫  
「ん……まだ精液残ってるかな……」（吸い出す音）「んへ

「ふふ……（舐めつけて5秒）…………ふはあ…………」

「うかうかな？」それでスッキリした……？  
「ああ、やがてお口が気持ちよくなつた……」

//タリード位置:3 耳元で囁く

「朝からおちんちん気持ち良くなってきて、幸せ……」

位置・3・ツドヘツミーダン//

「ふふ……私を『くそな』口うるさいしたのは、パパなんだよ……？」

「ふふ……私を『んた』にエッチにしたのは、ノハなん  
いろんなこと、教えてくれたんだもん……ね？」

／＼ダミーへツド位置・一 少し照れつつ

「もちろん、私も……パパのためにって、がんばったけど……」

… もちろん 私も… ハハのがめはで かんはでかけと  
だって、喜んでもらいたいし気持ち良くなしてあげたいもん…

紫

YU10165 「ホイ」「へ良かった？ うふふ、それならよかつた……」これで今日  
もお仕事、頑張れるね。じゃあ、朝ご飯の支度するから、パパ  
はお顔洗つてきてね♪

//終

//05. キス→耳舐め

//※ダマリ位置指定は直前のものに準じます

//ダマリ位置・1 近きまづき

YU10166 「パパ……お膝の上に座つてもいい……」

YU10167 「パパく……」(ハグ)「お顔が近いね……ちょっと照れちゃ  
うよ……」

//ダマリヘッド位置・1 脣を触れさせるキス

YU10168 「パパ……可愛い……」(キス音) ……(キス音5秒)「

YU10169 「つぶふふ……ほっぺが赤いね、パパ……」ねえ……もひとつキス  
して……」

//ダマリヘッド位置・1 脣を触れさせるキス

YU10170 「(キス音5秒) ……ふあ……パパ……大好き……」(キス音) …  
…」

紫

//ダマリヘッド位置・1 脣を触れさせるキス

YU10171 「ふ……(キス音5秒) ……気持ちいいよね……」

紫

//ダマリヘッド位置・1 脣を触れさせるキス

YU10172 「嘘だかじやなへて……ほつぺこも……（キス音）……お鼻にも  
……（キス音）……臉にも……（キス音）」

YU10173 「こいせこ、こいせこ……キスしたいの……もひとむー  
みお、ペペ……」

YU10174 「わふふ……大好き……（キス音5秒）……ん……パペの舌も欲し  
//「まみーへシナ位置・1 ディープキス  
こよ……」

YU10175 「ねづる、（ト）マー♪キス10秒）……ふはあ……わふふ……  
キデキシトわがや……」

YU10176 「ま、パペこもぬわいじるどしゃ……ママの心臓が、デキ  
シヤシヒルのが……あふ……」  
//「まみーへシナ位置・1 ディープキス

YU10177 「（ト）マー♪キス10秒）……ふああ……唇も舌も、どうけてき  
たりやう……パペあ……」

YU10178 「舌に唾液を乗せて……んく……（ディープキス5秒）……」  
…パペの唾液、飲んじやうね……」

YU10179 「まみーへシナ位置・1 ディープキス  
「まじくふああ……もひとむと舌を絡ませて、パ  
ペあ……（ディープキス10秒）」

紫

YU10180 「ふあ……頭の中まど、とひなときちやう……」

紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫 紫

紫  
Yui0181 「へふる……ねえ……キス……気持ちよかつた……。私はすっ  
‘J’へ舐持ち舐へつて、頭の中もドツツツツヤヒヒの……  
ペペせ……。」

//ダリ一へシテ位置・2 紫が左耳を舐められてくる  
紫  
Yui0182 「ふやあひい……くすぐったいよお……あん……しゃなり……ん  
べ……お耳、舐めちやダメバ……。」

//ダリ一へシテ位置・8 紫が左耳を舐められてくる  
紫  
Yui0183 「ああん、反対側のお耳も……んんっ……そんに、舐めちやう  
なれて……ひやうひ……。」

紫  
Yui0184 「く、くすぐったく……ゾクゾクしかやうお……あう……  
ペペあ……せ……。」

//ダリ一へシテ位置・3 耳元で囁く

紫  
Yui0185 「今度はママの番だもん……お返し……ペペのお耳も……。」  
…「せこ、舐めちやうんだか、りあ……。」

//右耳舐める

//右耳側に移動してくる（パンパン）  
//ダリ一へシテ位置・3 耳元で囁く

紫  
Yui0186 「最初せ……」じうのねお耳……。（耳にキス音）…………ふふふ、ほ  
りあ……へすぐったじやしお……。」

紫  
Yui0187 「でも、許してあげなきの……ふふ……わいわいおおおおおおおおおお  
ほほ、じうじうじうじう……（耳にキス音5秒）……。」

- 紫  
YU10188  
「へくへ……ペペのお耳ひじ、こいつ見ても可愛い……（耳にキス  
音）…………こひこひしてあげたくないわやつ……（耳にキス音）  
……」
- 紫  
YU10189  
「ふー……ふー……ふー、へすぐひだこと、首が上へくつてなるん  
だよね……（耳にキス音）…………（耳舐め音10秒）」
- 紫  
YU10190  
「へふふふ……ペペのお耳の形に合わせてね、舐めてるんだよ……  
(耳にキス音)…………耳の後ろまで、しつかり舐めかやつ……  
(舐ぬ音10秒)」
- 紫  
YU10191  
「ふふ……ペペの耳たぶひじ、柔らかくて美味しぃやつ……はむ  
(耳舐め)…………はむはむ……ねふ……」
- 紫  
YU10192  
「他のヒジヒジ……ねふ……舐えて、舐ぬるね……（耳しゃぶり  
音10秒）」
- 紫  
YU10193  
「ふふせあ……ペペの体が震えてる……ふふふ、お耳で感じちゃひ  
てね……（耳にキス音）…………クゾクしちゃうの……」
- 紫  
YU10194  
「（耳しゃぶり音5）…………なんだからお耳が赤くなつたよ……  
お耳を舐められたと、恥ずかしくなつちゃうの……」
- 紫  
YU10195  
「（耳にキス音5）…………お耳が火照りいるんだね、熱いよ……  
(耳にキス音5)」
- 紫  
YU10196  
「べすぐひだこのは、少し慣れてきた……（いやあ、）ハーハーハ  
のはさうかな……お耳のころんなといを、甘噛みするね……」

紫  
Yui0197 「せわせわ……（口唇みず5秒）……耳たぶだけじやなこの……お  
耳の余裕を、口唇みづかやひよ……」

紫  
Yui10198 「喉掛け舐めたら、ペペ……しゃいたる、舐が丑いやうにも  
……。」

紫  
Yui10199 「ハ・ン・ル……もう1度やーい」とおさわやいの……（口唇みず5  
秒）……ふ……う……（耳たぶしづら5秒）」

紫  
Yui10200 「ふふ……くくく……舐掛けられた……。」

紫  
Yui10201 「ふふ……でもまだまだ、終わるなこや……。次は……お耳の  
中もぐ、舐ぬかやつね……」

紫  
Yui10202 「え……（耳の中舐ぬ5秒）……」から奥まで、舌を入れて…  
…（耳の中舐ぬ10秒）」

紫  
Yui10203 「えせあ……ペペのお耳だわん、舐くなんじなこよ……。それ  
こ、ヒトも美味しいの……あふ……」

紫  
Yui10204 「（耳の中舐ぬ10秒）」

紫  
Yui10205 「あふ……やへる、ちょっとしなこよ……ペペのお耳の奥、  
おれなこよ……」

紫  
Yui10206 「ふふ……くしゃむにゅ・3 耳元で囁く

紫

「お母さん、うれしくて、興奮してるの……？　ママと一緒に、パパと一緒に、もうひと気持ちよくなるように舐め舐めしちゃうね……」

紫

YU1020/「(耳の中話を10秒)」

//ダリ一ツド位置・3 耳元で囁く

「あふ……パパのお耳、ママの唾液でトベトベになっちゃつてんの……なんだかホツチ……」

紫  
「ふふ……。ハ。あ……ママに硬いのが当たつたのよ……そんなこ氣  
Yui10209

Yui0209  
「ふむ……パパあ……マミニ碑  
掛か取かったの……。」

「（時計）……………だつて…………おちやぢや、おおきくなつてゐ

「……そんなにユウチな気分はないぢやないかの……」

紫 「（耳の中舐め音10秒）」

//ダ//ー<sup>ツ</sup>ド位置・3 耳元で囁く

「わざわざ……んが、手を貸すってして……」アリしたの? ママ

紫  
Yui0213  
「ハーハー、ペペ可愛い……大好き……（耳の中舐ぬ音10秒）……

1

「ダ」の位置・3 耳元で囁く

//ダリ一くジド位置・3 耳元で囁く

味の良さ、美味しさ……（味の良さを10倍）……」  
Yui10216

卷之三

「でも……」つかのお皿せ、これでおしごだよ……？」

卷之三

二  
左耳舐め

// 増刊を和重してしまふ

紫  
Yui0219  
「だつて片方だけだと、お耳が寂しがりちゃうでしょ……？」  
かわ、わやんと……（耳にキス音）……舐めてあげたいんだも  
ん……」

Yui10220  
「(時にキス音5秒)……………不思議だね、パパ……………右と左で、お耳の

形がちよこと違うんだな……？」

Yui0221  
「あ、そうだよね、自分では見られないもんね……ふふ……（耳  
にキス音5秒）……左のお耳の方が、ちょっとカッコイイかも…  
…」

紫  
Yui0222  
「ハふふ」（耳にキス音5秒）……パパのじゅわのお耳も、大好き  
だよ……（耳にキス音）……」

紫  
Yui0223  
「早くく……ペペだつてやつドショ……。ママのお胸、右も左  
も好きだもんね……。ふふ……」

紫  
Yui0224  
「いじらね耳も……形に合わせて、耳をじこへね……。一いへ  
こ、おーいへこ……」

紫  
Yui0225  
「//アリ一くシナド體・7 耳舐る

Yui0226  
「耳の形に添ひて、舌を動かして……。(耳舐る音10秒) ……ん  
ん……」

Yui0227  
「//アリ一くシナド體・7 耳元で囁く  
「いじらね耳も……。耳舐る音あれると、舐持の虫くな  
れぬ……。」

紫  
Yui0228  
「アーラ……。いやあ、もひく舐持ちよくなれぬは、耳舐るかやうね  
……。(耳にキヌ音) ……耳たぶも……はむせむしがやうね…  
…」

Yui0229  
「アリ(耳舐る音5秒) ……。いじらね耳も、耳たぶも……。(耳たぶ  
一しゃぶる) 耳5秒)」

紫  
Yui0230  
「アリ……。ペペのお耳を舐るひるみ、ママも喜せな舐持ちになつ  
つかひ……。だから、もひく……」

Yui0231  
「アリ(耳舐る音10秒) ……」

紫

紫  
Yui0232 「アハハ姉、毎日……お口の中……せむ……」「アハ――くシテお嬢・7 口を離してやるわ

紫  
Yui0233 「(耳) やらかめ10秒)」

紫  
Yui0234 「んあ……うめめめ、お耳の中も……舐めいやつだ……」「アハ――くシテお嬢・7 耳の中舐め

Yui0235 「ふふ……舐め……べっぴんハーレ、中……(耳の中舐め5秒)……めめめめ……」

Yui0236 「お耳の大を、中で舐められると……感じのう。興奮へ」「アハ――くシテお嬢・7 耳元で囁く

紫  
Yui0237 「世、ハーレ……(耳の中舐め10秒)……」「アハ――くシテお嬢・7 耳元で囁く

紫  
Yui0238 「あく……興奮しているよね……。だひー、ペペのおかえちゃん……かいつねりあへなひてねやべ……。」「

Yui0239 「だか、わいふーおたの……(耳の中舐め10秒)……んふ……」「アハ――くシテお嬢・7 耳元で囁く

Yui0240 「べ、お耳も気持ちいいんだよね……だひー、リハーレ……(耳にキス音) ……お耳にキスするだけだ、ヨクヨクヒーヒー エビだもん……」

紫  
Yui0241 「【火の母】……（耳の中舐め音10秒）もつと敏感なんだよね……  
パパ……気持ち良さがつま姫、もつと聞かせて……」

紫  
Yui0242 「（耳の中舐め音10秒）……“あやまあ……”」

紫  
Yui0243 「お耳を舐められて、おちんちん硬くして、ペペッて……可憐い  
……ふふ……」

紫  
Yui0244 「べべのお耳は、せとばふ美味しじよ……（耳しゃぶづ音10秒）…  
…やれに、敏感で……（耳にキス音）……可愛じわく……」

紫  
Yui0245 「やいとこいせい舐めたいの……（耳の中舐め音10秒）……ん  
ん……氣持あこご……」

紫  
Yui0246 「お耳で、わいわい感じて……ペペ……（耳にキス音）……黒々め  
で、舐め舐めしてあげるから……」

紫  
Yui0247 「（耳の中舐め音10秒）……あふ……お耳の中も……耳たぶも、  
耳の裏めど……ぜんぶ舐めかやつた……」

紫  
Yui0248 「ねえせあ……せー……せー……ペペのお耳、美味しかったあ…  
…あふ……」

紫  
Yui0249 「ねだ、こいせこい舐めかわいね……ペペ……（耳にキス音）…  
…」

紫  
//終//

//-----  
//06. 授乳手口ナ  
//-----  
//※ダリ一くシテ位置指定は直前のものと準じます  
//SE: ベビーベの転む音  
//ダリ一くシテ位置・6 ベビーベに上がる  
Yu10250 「モニヨウヒンダル…ペペ…」  
//ダリ一くシテ位置・1  
Yu10251 「ベくく…ペペのお膝の上に座っちゃった…」  
「お顔が近くで見れるよね」  
//ダリ一くシテ位置・1 田の前で囁く  
Yu10252 「われ」、 わせひトイドわせわやつんだよ…ほひ、 (SE: 衣擦れの音)  
「わせ一ひト…ペペの腰中、 大きくて手が届かなければ…」  
「」  
//ダリ一くシテ位置・3 耳元で囁く  
Yu10253 「人で一緒に」、 わせ一ひト…」  
「…」  
Yu10254 「…ペペの方が力が強いね…私の体、 わせ一ひトイされ  
わせひトイ…ペペの腕の中にすっぽりと入っちゃうるんだ  
わせ…」  
//SE: 衣擦れの音  
//ダリ一くシテ位置・1  
Yu10255 「あん…」…ペペがぎゅいとしたのは、 ママの胸にお顔を  
すりすりしたかったからなの…」  
「…」

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

紫

Yu10256 「パパくく……こよ……パパの好きなよつこ、ママの胸にすりす  
りして……好きなだけしていこよ……」

//SE:衣擦れの音

//ダリルーへシア位置・1 少し感じじる

Yu10257 「あふ……そんなに強く、すりすりされたると……ママ……あん…  
…」

//ダリルーへシア位置・7 口元で囁く

Yu10258 「ちー、そんなこママのおひょいが欲しいの……、ちゅうと恥  
ずかしいけど、でも……パパが欲しいなら……」「…

//上を脱いで裸になる（衣擦れ音）

//ダリルーへシア位置・1

Yu10259 「へこむ……（キス音）……くくく……ぱぱぱぱてね  
…」

//ダリルーへシア位置・1 感じつけ、嬉しそうに

Yu10260 「あんの……こきなり吸い付くなんてパパ……ふふ……そんなこママ  
のおひょいが恋しかったの……~」

//ダリルーへシア位置・3 口元で囁く

Yu10261 「こー……いぱい、吸いついていいんだよ……だつて、ママのおひょ  
いは、パパだけのものなんだから……」

Yu10262 「ふふ……ちゅう、ちゅうて、一生懸命に吸つてる……あ、あん  
……可愛いね、パパ……あふ……」

Yu10263 「可愛い赤ちゃんみたいだね……くふ……本当に可愛らしいも  
のと強く、きゅうしてしたくなつたやつ……」

//ヌリ一くシテ位置・1 少し残念わ"

Yu10264  
「じゃ、『J』なんね……ペペ……ママのおいせこ、モダリルクが出て  
なくいへ……こ……くわい……」

//ヌリ一くシテ位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10265  
「ペペがわいと吸いつくれだり……ひ……ひみのむしだ、ひ、 ヌ  
ルク丑たつかるのかわ……」

//ヌリ一くシテ位置・1 感じて身體への

紫  
Yu10266  
「ええい……そんなに強く吸われると、ママ……おねい……  
ペペ」ねいせじ吸われて、感じかやうい……」

//ヌリ一くシテ位置・1 身體への

紫  
Yu10267  
「ママの乳首好きなの、んい……夢中になつて、吸い付いて  
ねる……ああい……」

紫  
Yu10268  
「あふり……こじよ、わいと吸いつ……ペペの好きなだけ吸つて  
こじよ……こじよ……」

//ヌリ一くシテ位置・1 瞳れつい声

紫  
Yu10269  
「あふ……あふ……ペペのおむすぶん、おつかなくなつてわいね……  
ママのお尻に附いてるね……」

//ヌリ一くシテ位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10270  
「ママのおいせこで興奮して……大きくなつちゃうだい……う  
ふふ……嬉しこ……ア」へ硬くなつてるね……」

//ヌリ一くシテ位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10271  
「ねいせじを吸いつけやなくて……おちくらんも、氣持ち良く  
なつたよね……」

位置・1 ニスを露出させる  
位置・2 リツド位置

Yuj10272  
「うるさい、うるさい」と罵倒されながら、黙ってあが

//ダミーへッド位置・1 嬉しそうに

紫  
一わあ……本当に硬い……パパのおちんちん、しつかり上を向い

て戻してある

「待つってね、すぐに気持ち良くなしてあげるから……ママが、パパのおちんちんを気持ちよく幸せにしてあげるね……」

「せふーーーもう先っぽからエシチなお汁が垂れちゃってるーーー」  
「れをーーー」、塗り抜げーーー (SE:ぬちやぬちや塗)

位置・7 耳元で囁く――「アタマ」

「最初は、ゆうべりと……ね？」指を、「こうして……絡めて、動かさないで……」吸いこみながら、ささやく。

論文・解説論文

「気持ちいい……。んっ……ママも、気持ちいいの……だつ  
て、パパが……舌で、乳首を……くにくにって、してくるか

## //ダミー・ヘッド位置・3 耳元で囁く

「ペペは、そのままでいい。ママのおつぱい、吸っていいよ。おあんちんの二点は、ママに任せたまへ。」

1. 電子商取引法//

紫  
YU10279 「ヌーハル……お汁を塗り付けて、指のお腹で……ふく……裏側の筋を、」  
「いやつて擦るといせいか、気持ちいいよね……？」

紫  
YU10280 「べべのねかべりで、熱くて、もひと硬くなつてしまつた……」  
「うるさい……すいへん張ら詰めかやつてる……」

紫  
YU10281 「//ヌーハル……シテ位置・3 口元で囁く

紫  
YU10281 「熱々の精子が、こわばこ強いかやつてるのかな……」  
「あ、早く……ひゅ、ひゅうて出れなことね……くふ……」

紫  
YU10282 「//ヌーハル……シテ位置・1

紫  
YU10282 「やいと強くつかむ……」  
「つかり握つて……」  
「強く扱へた……」

紫  
YU10283 //ヌーハル……シテ位置・3 口元で囁く

紫  
YU10283 「あこの……ママの手の手だ、おかえちんが震えてるの……」  
「あひて感じ……感じがやつてゐる。」  
「やいと強く、おかえちんシロシロしてあげるの……」

紫  
YU10284 「//ヌーハル……シテ位置・1 誓約になつて扱へ

紫  
YU10285 「あこの……か」「さよ、ペペ……」  
「おひと強く、おかえちんシロシロしてあげるの……」  
「やいとねいかへないで……」  
「ママの手じやせつなかへないで……」

紫  
Yui0286 「嘘偽の嘘の嘘も、どうでも流れてくれるの……ふうい……」

「つまこ感じて、パパ……」

紫  
Yui0287 「まあ、まあ……もう出やつた。出してねばねばしだの、つまこ

こ出かやこやか……んぐ……」

//マリーハッシュ位置・1

紫  
Yui0288 「ここ、ここ、ここ……ママの中、びゅ、びゅつ

て、つまこ射精して欲しいの……」

紫  
Yui0289 「恥ご切り出してね、パパ……ママが扱いてあげるから、

つまこ射精して欲しいの……」

紫  
Yui0290 「こつでもここの……！ パパの射精は、ママが受け止めちゃ

うの……最後までしつかり扱いてあげるから……」

//SE：射精音

//マリーハッシュ位置・1

紫  
Yui0291 「へへへ……おちんちんがビクビクって跳ねてゐる……暴れ

ちやうでる……ああ……」

紫  
Yui0292 「熱い精子がいっぱい……どひゅどひゅと流れてくれるの……由

べてねバネバしたのが、『んなに……』

//マリーハッシュ位置・1 ライドコ

紫  
Yui0293 「せー……せー……す」「こね、パパ……ほり見て、こんなこいつ

ぱい出たんだよ……。」

紫  
Yui0294 「ねむねばしく、すいへい濃いの……匂いだけで、妊娠しかや

いつだもん……つらう……つまこだね……」

紫  
YU10295 「ペペせこいせいに精子出しち、スッキリできた!……。」「ふふ、  
アマサ嬢しこなあ……。」

//ダマリ→ヘッド位置・3 耳元で囁く

紫  
YU10296 「レズなり丑じへれり、あらがといつ……お疲れ様が、ハハ……。  
ナーナー……。」

紫  
YU10297 「ハ、ふふ、だひで……アマのねいぱんこに甘めでへるペ、本当に  
可愛かったんだもん……。」

紫  
YU10298 「ハのねいぱんこーひと、ねいぱんこ吸わせてあげたいなつて……思  
ひやつた……。」

//ダマリ→ヘッド位置・7 耳元で囁く

紫  
YU10299 「ねだ、アマのねいぱんこ……こいぱんこ甘美いね……。(キス  
音)」

//終

//07. 0px

//-----

//※ダマリ→ヘッド位置指定は直前のものに準じる。

//SE:ヘッドが軋む音(ギン)……。

//ダマリ→ヘッド位置・7

紫  
YU10300 「ねだ、ペペ……今日はもつ邊ちやつた……。ん、まだ眠た  
くなじ……。良かつたあ……。」

//ダマリ→ヘッド位置・1

「ふくふく……おねがいがあるんだばど……。」  
//ダマリ→ヘッド位置・7 発情したように耳元で囁く

紫

Yui0301  
「ハハホ……したいなつて、やつ思つてたの……今日はパパと、  
もひとハハブしたいなつて……ダメ?」

//ダマリーへシズ位置・7 耳元で囁く

紫  
Yui0302  
「ニニの、つるり、あっがとハ、パパ……大好き……（頬にキ  
ス）……」

//ダマリーへシズ位置・7 耳元で囁く

紫  
Yui0303  
「パパとママは夫婦なんだから、いっぽい……好きだけ愛し  
合ひていこんだもん……（耳にキス）……」

//ダマリーへシズ位置・1 唇へのキスを挟みながら

Yui0304  
「ペペがね、お仕事してる間……（キス音）…………ずつと、パパの  
口とばつかり……（キス音）…………考えてたんだよ……」

//ダマリーへシズ位置・1 唇へのキスを挟みながら

紫  
Yui0305  
「ハハホな！」とも……（キス音）…………ちよつとだけ、考えてたか  
も……（キス音）…………え、パパもやつなの？ んくく……う  
れしこ……」

//ダマリーへシズ位置・1 ドイープキスへ

Yui0306  
「ペペあ……（トマイープキス10秒）……」

//ダマリーへシズ位置・1 ドイープキス

Yui0307  
「もひとハ、強く絡ませて……ん……（トマイープキス5秒）……

「ペペとキスしてると、唇も舌もじぶんできちゃうの……（ト  
マイープキス5秒）……」

紫  
Yui0308  
「ペペとキスしてると、唇も舌もじぶんできちゃうの……（ト  
マイープキス5秒）……」

紫

Yu10309  
「眞持ちゃんへ、 頭がボーッとしているやつ……お、 パ  
ペあ……」

//" " -> ハツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10310  
「大好物……（耳にキス音5秒）……………お耳が熱くなつて  
る……」

//" " -> ハツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10311  
「ねた、 お耳の母性も、 これからをつかやうの……（耳の母性  
お5秒）……………お、 ん……」

紫  
Yu10312  
「お耳を舐める、 パパの体がビクビクつてなるの……好也……  
ふ、 ふ……」

//" " -> ハツド位置・4 首筋へキス

紫  
Yu10313  
「じやあ、 これせどい……（首にキス音5秒）……………首にキスされ  
れるの、 気持わこう……。 パパの首筋とか……鎖骨とか、 好  
也……」

//" " -> ハツド位置・4 首筋へキス

紫  
Yu10314  
「（袖にキス音5秒）……………（首筋舐め音）……………耳だけじゃなくて、  
首も……鎖骨も、 ぐとぐとしなつかやつたの……」

//" " -> ハツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10315  
「あ……ペペ……おわんちんが硬くなつてゐる……ママの腰に  
這いつぶつて、 小さなよ……。」

//" " -> ハツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10316  
「ママ……お、 おなにかは眞持だったの……。 ママ  
ルーツナチしたじつて、 思ひつた……。」

//ダリ一ヘシド位置・1

Yui0317  
「ちゅうと待つてて、先に服を脱いじやつね……。パパはその  
まま……ママが脱がしてあげるかい……（SE：服を脱ぐ衣擦れ  
音）」

//ダリ一ヘシド位置・6

Yui0318  
「パパく……先に裸になつちやつた……次はパパの番だよ……」

//ダリ一ヘシド位置・6

Yui0319  
「パパ……脱がせてあげる……まよせシャツを……（SE：服を脱が  
せる衣擦れ音）……んしょ……」

//ダリ一ヘシド位置・1 足元の方から

Yui0320  
「それから……口も窮屈だよね……ズボン」と、パンツも……（SE  
：脱がせる衣擦れ音）……「ふふ、飛び出してもちやつた……お  
ちんかん……」

//ダリ一ヘシド位置・1 フヨリハ中（足元の方から）

Yui0321  
「パパく……元気だね……つんつん……「ふふ、ビクビクついでし  
て、かわいい……」

Yui0322  
「じやあ……最初は、お口で氣持ち良くしてあげるね……（キス  
音）……」

Yui0323  
「根元の方を、指で……シロシロしながら……（キス音5秒）……  
パンパンに膨らんだ先っぽに、じいぱいキスしちゃうの……  
(キス音5秒)」

紫

Yu10324  
「(キス音5秒) .....ん、ん.....おちんちん、やっと硬くなつたよ  
.....(キス音5秒) .....あふ.....ねせねせのお汁も、出しましたよ  
.....」

「パパ...」

//興奮した様子で

Yu10325  
「さあさあ.....」ぐに元氣だと、おしゃべりしておいたくなつ  
たらやつた.....パパも睡えて欲しき.....」

Yu10326  
「ん、なんだ!あくくく.....それじや.....」ただいまーす...  
...」

//ヌード位置・1 フルハーフ、睡れ

Yu10327  
「せぬ.....るる.....(ヌード位置)やる音10秒) .....」

//ヌード位置

Yu10328  
「美味しそう.....パパのおちんちん、すいへんチチな味がしてゐる  
.....(ヌード位置)やる音10秒) .....」

//ヌード位置・1 フルハーフ、睡れ

Yu10329  
「あふ.....パパの匂いと味で、私も興奮してきなやつた.....んん  
.....(フルハーフ位置) .....わたしも、自分でしゃぶやつね.....んあ  
...」

//SE: 紫の歎息をしてくる水音

Yu10330  
「(フルハーフ位置)」

//ヌード位置・1 フルハーフ位置

Yu10331  
「わくわく....あふ.....づく、自分でしゃぶる.....パパがしてくれ  
るみたいに.....んひ.....」

//ヌード位置・1 フルハーフ、睡れ

紫

紫

紫

Yu10332  
「(激レトロヒーリング10秒) .....♪はあひ.....おおひ.....ペペハ...  
...」

紫

//ダリ一くシズ位置・1 フルラウド、體幹湿润  
「ねむへかで、美味しこのい.....せむひ.....(激レトロヒーリング10  
秒) .....

紫

//ダリ一くシズ位置・1 フルラウド、體幹湿润  
「お口の中、ぐるぐる硬くなつて.....(フルヒーリング5秒) .....ハツ  
チなねたも、こいつせじで.....んふ.....」

紫

//ダリ一くシズ位置・1 フルラウド  
「(激レトロヒーリング10秒) .....♪はあひ.....」

紫

//紫の血飴をじてじる水音スリップ  
//ダリ一くシズ位置・1 「お願ひ」から7へ移動、耳元で囁く  
「せあ、はあ.....ペペあ.....もつ我慢できないの.....お願い、お  
ちやかへ.....入れてべ.....」

紫  
「せあ、はあ.....ペペあ.....もつ我慢できないの.....お願い、お  
ちやかへ.....入れてべ.....」

//ダリ一くシズ位置・1 耳元で囁く  
「血飴でしてたから、わづぐしょぐしょだよ.....すぐにおちやか  
ん挿れられるの.....だから、お願い.....ペペあ.....」

紫

//ダリ一くシズ位置・1  
「自分で脚を抱えて、仰向けになればこいの.....うん、パパ  
のお顔を見ながらの方がうれしいから、こころ.....」

紫

//体勢を変えている(パンツ脱ぐ)  
//ダリ一くシズ位置・6 やや下方  
「自分で脚を抱えて、仰向けになればこいの.....うん、パパ  
のお顔を見ながらの方がうれしいから、こころ.....」

紫雲山房詩集

「んじゃ……」れでいいの……？

紫  
Yu10340 「あんの顔を近付けてそんなに近くで見られたら、恥ずかしいよ。」  
「だいたい、もうこのまま焼れちゃってるもん……」

紫  
Yui10341  
「まああはあ……わいと拡げて見せるの……。あいつ……自分の

指で「」で……（開く水音）ん……れでいい……？】

Yu10342  
「アーリー...アーリー...アーリー...アーリー...」

羞恥で興奮しつつ

紫  
YU10343  
「はあ、はあ……おちんちんが欲しくなつてゐる、Hツチなおまん  
こも……せんぶ、丸見えなの……」

「さあ、はあ……うん、奥までしつかり濡れてるよ……」

6・位置づけ／ダニーへツド位置 恥ずかしそうに

「ハハ、だひー……ペバのね、おしゃべりしながら、……田舎で、」  
「の煙で……おなじ一してたんだもん……」

「はうう……お願い、パパ……早く来て……もう、おちんちん欲  
しいよな……」

//クニヤアヒル

紫  
「あー、あーあー…………誰がいたる…………んー…………。」  
「…………あー…………。」  
「…………あー…………。」

紫  
「あんつ……お、おっぱいまで、揉まれてつ……そんなにし  
2010-03-48

ちやダメなのつ……あつあつ……パパあ……」「

紫  
Yui0349  
「ク、クリトリス、吸われちゃってるの……あああ……」

ちゅつ、ちゅつて、いっぽい吸われて、ひああっ……」「

紫  
メル350  
「そこは感じ過ぎちゃうよお……あつあつ……」吸われす  
きて、腰が震えちやううつ…………」「

//SE:くちゅ音（紫がいくまで）

紫雲山房詩集

紫  
「な、舐めながら、指で、そんなつ……ああっ……か、感じ  
るつ……パパあ……」

「氣持ちでいいんだ、指で擦りあわせるの……」あんっ……」

紫 Yū (20秒)」

紫  
Yui0356  
「ああん、もひだめなのい……。あひあひ……。指でくちゅ

Yui0356  
「ああん、カハダメなの〜……。あーあ〜……。  
かわわね〜、カハイシカヤ〜のね……。」  
指でくわく

紫

Yu10358  
「（振ふ古畠10秒）」

紫

「はあっ、はあっ……イカされちゃったよお……パパの舌と指で、我慢出来なくって……イッちやつたのぉ……」

11

「はー……はー……ひりきなじでみお……わつ我慢できなじよ……お願い、おちんちん欲しいの……ぐしょぐしょになつちやつた、ママのおまんこに挿れてえ……」「

// 体勢を変えている('onso'onsoと)  
// バシ ハンダ位置 -1

紫

「はあ、はあ……いいもん……パパがしてくれないなら、自分で  
挿れちゃうから……ん……」「…………」

11

七

Yui0363  
「ほふ、見て……パンパンになつてゐる先っぽが、入り口に当つて  
るの……んん……」

紫

「…」  
「…」のまま挿れちゃうよ……んんっ……（挿入音）入り口が、硬いので抜けられてるの…おちんちん、入ってきてる…

紫

紫  
Yui0366 「入る、入つやうやうい…… エぬ、ペペ……。 エカル  
エカルが、入つておれるの……。 エヌエヌ……。」

//エリ一ヶツド位置・1 リン鏡を近付けて

紫  
Yui0367 「せぬ、せあ……ア！」こな、ペペ……見て、せんざ入ひやういた  
の……あら……。」

//エリ一ヶツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yui0368 「ママの母せんじ……。 こなせんじ濡れてゐるね……あつたかく  
て、舐持ちこな……。」

//エリ一ヶツド位置・3 口元で囁く

紫  
Yui0369 「ペペの舐持ちこな……だから一緒に、もいつ舐持ち出し  
ないかやおひね、ペペ……。」

//エリ一ヶツド位置・9

紫  
Yui0370 「ええ……最初は、せんべつ……そつ……動く、ね……。」

//SE: 推送音

紫  
Yui0371 「いいへつて、腰を……ええ……前後に、くねくねする……あんつ  
……中で、舐持ちこなことじゆの……擦れるのが……。」

紫  
Yui0372 「それから力を入れて……腰を回すみだりに……くわい……おち  
んちんで、強き腰せんざれたいなの……ああ……。」

//エリ一ヶツド位置・1 両の前で囁く

紫  
Yui0373 「せぬ、せあ……ペペのおちんちん、おひねじかる……あんまり  
激しく動けなごよ……でも……んひ……。」

//エリ一ヶツド位置・3 口元で囁く

紫「気持ち良いところに当るから、頑張つて動いちゃうの……んつ

ん  
氣持ちいいよ、ババあ

二・位置

「腰を弾ませる」と、なんつ……奥まで届くより……あんつ……

「壁や弾丸やねん、ススイ……奥はどうよい……あスイ……  
“アホ”、かきひいて、ハサクな顔、ツカヤヒトね……」

「あ、あん、腰が止まらないよお、パパっ……ぐしょ濡れのおまんこで、おちんちんが気持ちのいい所に当たつてす」「いいよお……」「

位置 -1 に位置づけられる。つまり、 $\pi$  が定義される。

「あん……はあはあ、気持ちいいっ……気持ちいいの、パパあ……」  
……感じるとこ、ぜんぶ擦れてるっつ……」

二三ノダマシ

「（大きめの喘ぎ10秒）」

紫  
YU10379  
「えんじー…………はあー、はあー、はあー…………かーじーむねー……

// 抽送音ストップ

//ダム位置・6に感じつつ

「んんっ……いきなりどうしたの、パパ……？」ママの腰を押え  
て、動かないようになって……

//対面座位へと体勢を変えている（「ン」「ン」と「ダ」の位置・1

紫

Yu10381 「あんっ……せあ、はあ……体を起ししで、今度はパパが上にな  
るの……。パパがしてくれるんだよね……？」

//窓口へシフト位置・1 田の前で囁く

紫  
Yu10382 「うそ、して……わつトロトロになつてゐる、ママのヒツチなお母  
さん……熱いおちんちんで、ズボズボして……」

//SE:抽送

//窓口へシフト位置・6 少し下側から

紫  
Yu10383 「ああんっ、すいこ……。パパの腰使いの方が、もつと激しく  
のい……」

紫  
Yu10384 「くっくんっ……すんすんきてるのぉ……。あひあひ……奥ひ、  
いちばん深いところに、おかんちゃん這いつぶむわ……」

紫  
Yu10385 「気持ち良すぎで、どんどん締め付かやうのぉ……。あ  
あひ……。パパも感じてい、ママの中で気持ち良くなつてしま  
……」

紫  
Yu10386 「ああんっ、すいこ……。くちばん深いところ、すんすんつ  
てノックされてるよ……」

紫  
Yu10387 「んじ……あひ……。あ、赤ちゃんのお部屋なの……。入  
り口、トランクを開けられると、幸せになつちゃう……」

紫  
Yu10388 「あああひ……。おかんからで幸せになつちゃうの……。あ  
あひ……。気持ちいい、気持ちいいよ……」

紫  
Yu10389 「べべのがみつちり埋め尽くして、子面が引つ張り出されちゃ  
う……。いちばんこじつけになつたお……」

紫  
YU10390  
「(激しく腰を10秒)」

紫  
YU10391  
「あああ…… パパあ！ オイオイも、オイオイも揉んでつ…  
…揉みながらすんすんしてぇ……」

紫  
YU10392  
「ふあああ… それ好い… ああんひ… 乳首を摘ままれなが  
る、子宮の入り口を擦り上げられちゃうよおお……」

紫  
YU10393  
「ホーヒーよおー… お腹の中、ココココヒヒで削りられる… キツ  
無理だよお、パパ…… ママもヒ限界なお……」

紫  
YU10394  
「ああああ… もうイク！ イクのひ… ああんひ… イッ  
ちやうひ、パパのおちんちんで挿き混せられて、イッちや  
う…」

//ヌリーハシア位置・1 皿の前で囁く

紫  
YU10395  
「お願い、一緒に、一緒にイッて……！ パパの射精で、ママの  
いじめかせてぇ……」

紫  
YU10396  
「いのまめい、いのまめい匂いで… パパの赤ちゃん欲  
ここの…」

紫  
YU10397  
「ちやんと赤ちゃん、妊娠できぬよひに、子宮にこつけ注い  
でゅう… ああああ…」

紫  
YU10398  
「ペペ！」ヌリをヌリって射精されながらイクのひ… あつ  
あつ… イッちやうひ…」

紫  
YU10399  
「ああんひ… パペー！ パパあつ… あつあつあつ… イ  
クつ！ イクつ！ イクううう…」

//SE:射精音

//**ミ**ークシ<sup>ム</sup>位置・1

Yu10400

「あああああ——」

紫  
Yu10401  
「丑いわい、丑いわい……おかえりがビックリついで、震えて  
るわ、熱いのこいつは丑いわ……」

Yu10402

「ええい……子宮に流れ込んでるもん……パパの熱くて  
濃い精子が、卵子に殺到してるので……」

Yu10403

「(荒い呼吸音10秒)」

//SE:紫の上に挿れ込む音

//**ミ**ークシ<sup>ム</sup>位置・1

Yu10404

「えい……ふあああ……せー……せー……パパ……大丈夫?う  
ふふ……わたしは大丈夫だよ、重くないもん……」

Yu10405

「せー……はー……パパあ……(キス音5秒)……こいつは丑い  
くれて、ありがとつ……ひとつもつれしぃ……」

//**ミ**ークシ<sup>ム</sup>位置・3 口元で囁く

紫  
Yu10406  
「お腹の中、パパの精子でいっぱいになってるの……赤ちゃんで  
めじめじふなあ……」

//**ミ**ークシ<sup>ム</sup>位置・1

Yu10407  
「えふわ……うん、すの「J」×坂持ち良かったよ……感心興味  
ちやつて、頭の中が真っ白になつたやつたの……」

//**ミ**ークシ<sup>ム</sup>位置・3 口元で囁く

紫

Yui10408  
「ペペのおちゃんちんがいけないんだよ……わたしのいいとこ、これな  
にヒラチにしかやったんだから…………ううう…………」

卷之三

紫

一本堂にありがとうございました ババババババババ  
(キス音秒)

七

「はー……はー……あん……まだ動いちやダメ……抜いちやうのもイヤなの……だつて、」「ぼれちゃうんだもん……」「

／＼ダミー＜ツド位置・／耳元で囁く

「パパが出してくれた、熱々の精子……こぼれちゃつたら、勿体  
ないもん……全部、まだ中に入つたままがいいの……」

「パパが出してくれた、熱々の精子……」ぼれちゃつたんじゃないもん……全部、まだ中に入つたままがいいの……」

YII10412

1

「だか、リのまわるおーいひ、マタの「」は、抱か継ぬて……  
バ。バ。……」「

Yu10413

「うふふ……す」へ気持ち良かつたよ、パパ……（キス音）  
ハヒハハ、ハヒハヒ……イッちやつたもん……（キス音）

「うふふ……すゞく氣持ち良かいたる、パパ……（キス音）  
いのせじ、いのせじ……イッちやつたもん……（キス音）…」

／＼ダミーへツド位置・一 デイープキス

Yui10414  
Городской  
дом

二

//ダリーア位置・3 耳元で囁く

YU] 0415  
「んふ……パパ……大好きだよ……（キス音）……」  
//終了

//08. 紫ご寝

/

//※紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

//SE: ハーシの衣擦れの音

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10416  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10417  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10418  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10419  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10420  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

//SE: ハーシの衣擦れの音

Yu10421  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

紫

Yu10422  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

紫  
紫  
紫

//紫「——く ハーフ位相腰振せ 直前のやの立派な 手

Yu10423  
「<sup>。。。</sup> もだ起きあつて<sup>。。。</sup> もひん腰ねやうだ<sup>。。。</sup>」

紫

紫  
Yui10424 「ババの方が…………体調が高いのかな…………？」

「あつたかくて……気持ちいいよ……」  
ババの方が……体温が高いのかな……？  
くつついでると、

紫  
Yu10425 「パパ、なんだか……幸せだね、パパ……大好きだよ……パパ

えへへ……なんだか……幸せがね　ハハ……大好きだよ……  
パも一緒になの……？　うれしい……」

紫  
YU10426  
「あ、つとーじつしてたしなあ……パパの『』、『』を一つにして……  
となりで寝るの……」

紫  
YU10427  
「あ.....パパ.....背中、撫でてくれるので.....」 ありがとう。  
パパの手は優しいね.....」

「うふふ……おひきなあへだね、パパ……もつ病ちやつ……。」  
「苦勞様……じゃあ、一緒に寝ようね……。」

紫  
Jul10429  
「今更…ついで…」の状態、気が付いた時で…寝るの…  
…朝まで、ずっと一緒に…」

「ハセキルの御用、お受けいたしました」  
「…………」  
「…………」  
「…………」

紫  
Yui0430  
「（ふざくあぐび）…………ママもね、ねむだく…………なつて、き  
わやつたかも…………」

紫  
Yui0431  
「……（小声）あべひ）……………パペも、わがわせ…………うかれ  
ちやうた、ね…………」

紫  
Yui0432  
「かわべべ……ねむねむ……だよね……（少やへあくら）……も

紫  
Yui0433  
「ね」たわ……がんせり——ね……」

//スクリプト位置・3 記念

Yu10434  
「あー……すーすーあー……」

紫  
Yu10435  
「あー……むしや……ペペ……あー……」  
//終

紫  
//  
//09. 盆口紹介  
//  
//※タリーカード位置指定は直前のものに準じます  
//タリーカード位置・9

紫  
Yu10436  
「ハハ… 盆口紹介… 記念日鑑賞しておねだり… あつひ…  
…やー、 しゃがなじなあ……」

紫  
Yu10437  
「ハハ… 鎌木紫だよ…ハハ… 家が神社なので…巫女  
セーラー…」

紫  
Yu10438  
「ハハ… あいために盆口紹介ってはずかしいね…」

紫  
Yu10439  
「ハハ… 実家は、 稲黍神社ついでます。 神主だつたお爺  
わやんが亡くなつてから、 私が神社を切り盛りしてゐる」

紫  
Yu10440  
「お父さんは普通の仕事をして、 こまは軽勤で遠くに行つてゐ  
る…お母さんもやつ。 でも寂しくないよ?」

紫  
Yu10441  
「ハハ… だつて、 あなたに逢えたんだもん」

紫  
Yu10442  
「わかれい…ハハ… えいと… あ、 趣味は可愛いお洋服の本  
を読んだり… お菓子を作つたりする」とかな…」

紫

Yu10443  
「おひせ、お掃除するのも好き……くく……だつて、綺麗になつていねど、アーッ♪♪脈元もよくならんだもん」

紫

Yu10444  
「おひせ何だのん……ん……ス、スリーカイバ…？  
ア、アハハのは秘密だよね……」

紫

Yu10445  
「ハハ……おひせ……身長がもつと欲しいかな……」

紫

Yu10446  
「赤嶋が小さこのせ……アヒルハクレックスで、大きくなりた  
こいつ……恥じいねさう……なかなか伸びないの……」

紫

Yu10447  
「牛乳もじつぱい飲んでるし、チーズとかも食べてるの」「……  
あ、それは秘密だつた……あつあ……」

紫

Yu10448  
「わかれ……れいと、あなたに逢えて、わたしどうでも幸せだ  
よ……だから、ずいぶんせこいでね……」

紫

Yu10449  
「ハハ……」、皿口紹介せ以上で終わりなの……恥ずかし  
いじりや嘲りややつた気がするナニ……氣にしたくダメなんだ  
からね……へ」

//終→

//  
//  
//10. 寝顔

//※※※→くびき位置指定せ直前のやのに準じ地図  
//右側から

//※※※→くびき位置指定せ直前のやのに準じ地図・3

紫

Yu10450  
「あー……あー……あー……」

紫  
「え……あ……む……わ……あ……あ……」

紫  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

紫  
「わ——わ——わ——わ——わ——」

//左側から  
「お——お——お——お——お——」

Yu10454  
「え——くシテお腹・7

紫  
「わ——わ——わ——わ——わ——」

Yu10455  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

紫  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

Yu10456  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

紫  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

Yu10457  
「あ——あ——あ——あ——あ——」

//終了